Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-02

Factors Related to Mental Health of Foreign Care Workers in Long-Term Care Facilities in Japan during the COVID-19 Pandemic - A Comparative Study

呉, 倩

(Degree)
博士（保健学）

(Date of Degree)
2023-03-25

(Date of Publication)
2024-03-01

(Resource Type)
doctoral thesis

(Report Number)
甲第8621号

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100482369

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。

（様式３）

論文内容の要旨

専攻領域　看護学

専攻分野　生活支援開発看護学

氏　　名　呉 倩

論文題目（外国語の場合は，その和訳を（　）を付して併記すること。）

Factors Related to Mental Health of Foreign Care Workers in Long-Term Care Facilities in Japan during the COVID-19 Pandemic - A Comparative Study

（コロナ禍における福祉現場で働く外国人介護者の mental health に影響する要因―日本人介護者との比較）

論文内容の要旨（1,000 字～2,000 字でまとめること。）

【背景】超高齢社会を迎えた日本では、高齢化の進展とともに要介護高齢者の数も増加し、それに伴って医療や福祉サービスの需要は大幅に増大することが予想され、高齢者を支える社会の仕組み作りがますます重要となってきている。医療福祉ケア領域における外国人人材の受け入れが制度的にも急速に進められている。法務省入国管理局によると 2020 年 12 月時点の医療・福祉現場で働く在住外国人労働者は 43446 人であり、前年と比べ 18.0%の増加がみられた。これから、介護人材の確保を喫緊の課題とする日本において、外国人介護者の就労が継続的、安定的に供給されるため、外国人介護者の mental health の支援も必要である。しかし、これら研究の中に在日外国人介護者に対象にした mental health の課題や支援に関する研究は少ない。

【目的】本研究の目的は、COVID-19 流行下、日本における外国人介護者と日本人介護者の mental health の実態について比較し、外国人介護者の mental health に影響する特徴的な要因を明らかにすることを目的とする。

【方法】日本の８０の EPA 介護福祉士候補者受入れ介護施設に勤務する外国人介護者と日本人介護者を対象に、オンラインで自記式アンケートを用いた横断調査を実施した。調査期間は 2021 年の 8 月か

ら11月であった。調査項目は、属性、仕事量、報酬、ストレス対応能力、COVID-19特有の要因、孤独感およびmental healthであった。尺度として、報酬と仕事量をthe effort-reward imbalance questionnaire、ストレス対応能力をSense of Coherence-3 scale、孤独感をUCLA Loneliness scale version 3、mental healthをthe Kessler-6 scaleによって測定した。外国人介護者について調査項目は文化適応程度、日本語レベル、国籍などを加えた。両群の参加者のデータを、カイニ乗検定Mann-WhitneyU検定、Fisher's exact検定を用いて比較した。統計解析ソフトはR version 4.1.1とSmartplsを用い、有意水準を0.5%以下とした。倫理的配慮として、本研究は神戸大学大学院保健学研究科倫理審査委員会の承認を得ている。

【結果】外国人介護士（N=172）の平均年齢は29歳、日本人介護者（N=154）の平均年齢は41歳であり、外国人介護者の平均年齢が低いことが見られた。外国人介護者は介護施設の経験年数（3.58±2.61）は日本人介護者（10.65±5.72）より短いことが見られた。外国人介護者のSOC(15.03±2.82)は、日本人介護者(13.91±3.37)よりも良好であった。さらに、外国人介護職サンプルにおける文化的適応と精神的健康の関係は、孤独感およびSOCによって媒介されることを見いだした。モデル検証の結果、報酬、孤独感、SOC、COVID-19特有の要因が外国人介護者と日本人介護者の両方のmental healthに有意に関連していた。

【結論】外国人介護者のmental health向上のため、教育的観点からは、外国人介護者のストレス対処能力を向上させるための教育プログラムを取り入れることが有効と考えられる。職場環境改善の観点からは、外国人介護者の納得できる報酬を考慮し、管理者は部下の状態に合わせた必要なサポートを実施し、効果的な方略を検討することが重要である。

指導教員氏名：グライナー智恵子

（別紙１）

論文審査の結果の要旨

氏　名	呉　倩		
論文題目	Factors Related to Mental Health of Foreign Care Workers in Long-Term Care Facilities in Japan during the COVID-19 Pandemic - A Comparative Study （コロナ禍における福祉現場で働く外国人介護者のmental healthに影響する要因―日本人介護者との比較） （外国語の場合は，その和訳を併記すること。）		
審査委員	区　分	職　　名	氏　　名
	主　査	教授	グライナー智恵子
	副　査	教授	千葉　理恵
	副　査		印
	副　査		印

要　　旨

本論文は、コロナ禍における外国人介護者と日本人介護者の mental health に影響する要因とその相違を明らかにした研究である。日本の 80 の EPA 介護福祉士候補者受入れ介護施設に勤務する外国人介護者と日本人介護者を対象に、オンラインで自記式アンケートを用いた横断調査を実施した。調査項目は、属性、仕事量、報酬、ストレス対応能力、COVID-19 特有の要因、孤独感および mental health であった。mental health への影響要因については Partial Least Squares Structural Equation Modeling により分析した。

外国人介護士 172 名、日本人介護士 154 名のデータからモデル検証を行った結果、報酬、孤独感、SOC、COVID-19 特有の要因が外国人介護者と日本人介護者の両方の mental health に有意に影響していることを明らかにした。更に、本研究により外国人介護職者における文化的適応と精神的健康の関係は、孤独感および SOC によって媒介されることが見いだされた。

これまで明らかにされてこなかった外国人介護士の精神面に影響する要因を明らかにし、かつ日本人介護士との共通点と相違点を明確化したことは、双方への効果的支援につながる重要な知見を得たものとして価値ある集積であると認める。

よって，学位申請者の呉倩は，博士（保健学）の学位を得る資格があると認める。

掲載論文名・著者名・掲載（予定）誌名・巻（号），頁，発行（予定）年を記入してください。

Factors Related to Mental Health of Foreign Care Workers in Long-Term Care Facilities in Japan during the COVID-19 Pandemic-A Comparative Study, Qian Wu et al., International journal of environmental research and public health, vol.19 (24), 2022.